

令和3年度 第2回ATCトライアスロンクラブ理事会議事録

日時：令和3年4月1日（木）19:10～20:30

場所：大井町きゅりあん 6階小会議室

出席者：青木義治、(高木)、秋元、吉野、青木幸雄、鈴木、羽入、(吉田)、中林、
(高井)、直、川原田、(西原)、野島 (記

※()は欠席者

(以上10名、順不同、敬称略)

議長：城西支部 直、中林

内容：

<練習会について>

- ・バイク練習会：越生コースを計画（白石峠よりは難易度低い）

日時：5/15（土）朝8時スタート予定（横浜TAと同日）

距離：往復130KM（彩湖スタート）（直）

- ・千葉合宿：未定（計画には消極的）

コロナがある&大会も少なく参加者も少ないので、開催は消極的。（羽入）

→ 開催するにしても宿泊は避けた方がよいのでは。（青木幸雄）

日帰りなら、養老溪谷などどうか

<各種大会について>

- ・宮古島：中止

徳之島：中止

皆生：開催予定

開催日を7月から8月29日に変更 エントリー費は6,000円アップ 45,000円

佐渡の1週間前になる。

佐渡：BタイプとRタイプのみで開催との噂

長崎：不明。

諏訪湖：6月26日（土）ミドルで43,000円（ちょっと高い）

直さん参加予定

<新規会員について>

- ・藤原さん、高梨さん（再入会）が新規入会
360分走にきてくれた2名。（野島）

<ATCカップ大会>

- ・開催予定

<デュアスロン大会>

最初はエントリー25名くらいで、経費15万くらいの赤字予定だったが、追加エントリーで最終的には36名となり、どうにか収支はトントンになりそう。

送付した名簿から下記4名が追加となる。（青木義治）

No 10：黒川マサト 館山市

No 34：永井克明 さいたま市

No 35：岩渕博史 鎌倉市

No 36：豊川由紀 藤沢市

合計36名参加予定

当日受付のエントリー費については大会後に入金にしよう。

※大会前に入金しようとして当日不参加となった場合、返金処理が発生して大変なため。

当日現金の受け渡しは行わない。

夏も当日受付は後日入金方式とする。（青木義治）

ランの折り返し地点についてはカマキリ公園を超えて坂を下りたトイレの前で折り返しとする。（青木義治）

バイクラックは離して設置するので広々とした設置になる予定。（青木義治）

バイクラック、ネット張りは例年通りに会員が実施する。（青木義治）

バイクラックの周りには黄色いネットを張る（青木義治）

テントは用意する。（直）

ゴミの回収は30分早めて依頼済み（青木幸雄）

戸田市指定のゴミ袋は鈴木さんが保管している。（青木義治）

ボランティアについて

6時30分集合

高井さん欠席。高井さん担当部分はさほど影響は無いので気が付いた範囲内で近くの者がフォロー。

高木さん欠席のため、高木さんが担当予定だった、⑤バイク折り返し地点は吉野さんに変更。

高木さん担当の⑤バイク折り返し地点を吉野さんに変更

吉野さん担当のバイクエイドを中林さんに変更

⑤の折り返しのバナーは、コースではなく土手の法面に置く。

道路に置くのは折り返しのカラーコーンのみ（青木義治）

ランカマキリ公園側折り返し地点には下記のを準備する。（直）

カラーコーン3つ、ポール2本、バナー、フラッグ（複数本）を準備する。

エイドについて（中林）

プラコップで水、コーラ、アクエリアスを準備する。

ボランティアは手袋を使用して準備する

手渡しはしない。

パン、バナナは用意する。

机はいくつ必要か？

ランエイドで2つ、バイクエイド2つ
受付で1つ、アンクルバンド用で1つ
合計6つ必要。

<理事専用のメーリングリストについて>

理事専用のメーリングリストを用意したので、今後活用していきたい。

飯島さんからメーリングリスト受信確認の依頼が来ているが回答率が70%にとどまっている。理事の皆さんが確実に受信できているか確認をとる必要があるので、まだ未回答の人は返信して欲しい。

(直)

知らないところで、いろんな人が協力してATCが成り立っている。誰がどんなことをやっているのか知るためにも、活動したときは理事用メーリングリストに流して、コミュニケーションの活性化を図りたい。(直)

→ 賛成(野島)

<コロナ対策(案)>

・青木幸雄さん準備のコロナ対策(案)を読み上げ(青木幸雄)

・選手に注意書きを配布する。

→ 配布しても読まない可能性が高いので受付に掲示とする。(青木義治)

・非接触の体温計で計測して記録として残す。

→ 受付時に検温して選手に体温を書いてもらい、それと引き換えにアンクルバンドを渡すようにする。(直)

・弁当、飲み物等々は従来通りに配布するが、食事する場合は密にならない様に各自適当な距離に離れてする様に指導。(青木義治)

以上